

真駒内地域 小規模校検討委員会ニュース

真駒内地域小規模校検討委員会では、子どもたちのためのよりよい教育環境の実現のため、学校統合に向けた具体的な事項について検討を進めています。

検討委員会では、地域の皆様のご意見も踏まえ検討を進めていきます。皆様からのご意見をお待ちしております。(ご意見の提出先は、4ページをご参照ください。)

第5回検討委員会における検討

第5回検討委員会は、平成21年6月8日に、真駒内南小学校において開催されました。

前回(平成21年3月6日開催)までの検討により、統合パターンが決定したのを受け、今回は統合校の位置を検討しました。

地域の方からのご意見

前回の検討委員会の開催以降、地域の方から数件のご意見が寄せられました。

統合校の位置の検討に関するものは以下のとおりありましたので、これらも踏まえ検討していくこととしました。

・札幌市でも将来、小中一貫教育を試みる可能性があるのだから、中学校の隣にある真駒内緑小学校と真駒内曙小学校を統合校とするのがよいのではないか。

・統合校の位置を検討するに当たっては、最も遠いところの児童数に極端な差がある場合は、その児童数を考慮することも必要ではないか。

ご意見の中には、地域説明会を開催し、経過説明を行ってほしいとのご意見もありました。しかし、統合に関する検討は、この検討委員会で行うものであり、検討の内容については、この小規模校検討委員会ニュースで情報提供し、地域の皆様からのご意見を踏まえて検討していくことが確認されております。

この他、通学安全に関するご意見もいただいておりますが、それらのご意見は通学安全関係の検討を行う際に併せて検討させていただくことにしました。

紙面の都合上、掲載できなかったご意見もありますが、

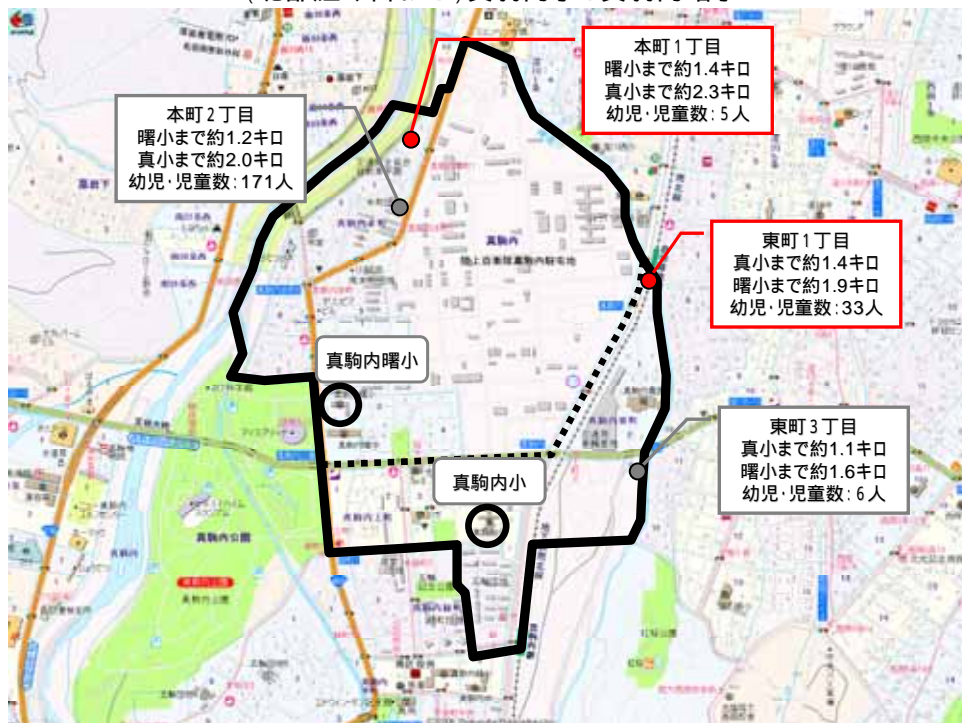
事務局へ寄せられたご意見につきましては、全て検討委員会へ報告しています

最も遠くなる地点からの通学距離、幼児・児童数

北部組み合わせ（真駒内小 + 真駒内曙小）では、真駒内小が統合校の位置となった場合に、最も遠くなる地点は、真駒内本町1丁目の約2.3 kmとなります。なお、真駒内本町1丁目の0歳から11歳までの人数は5人（平成20年度データ：以下同じ）です。

一方、真駒内曙小が統合校の位置となった場合、最も遠くなる地点は真駒内東町1丁目の約1.9 kmで、人数は33人となります。

（北部組み合わせ）真駒内小と真駒内曙小

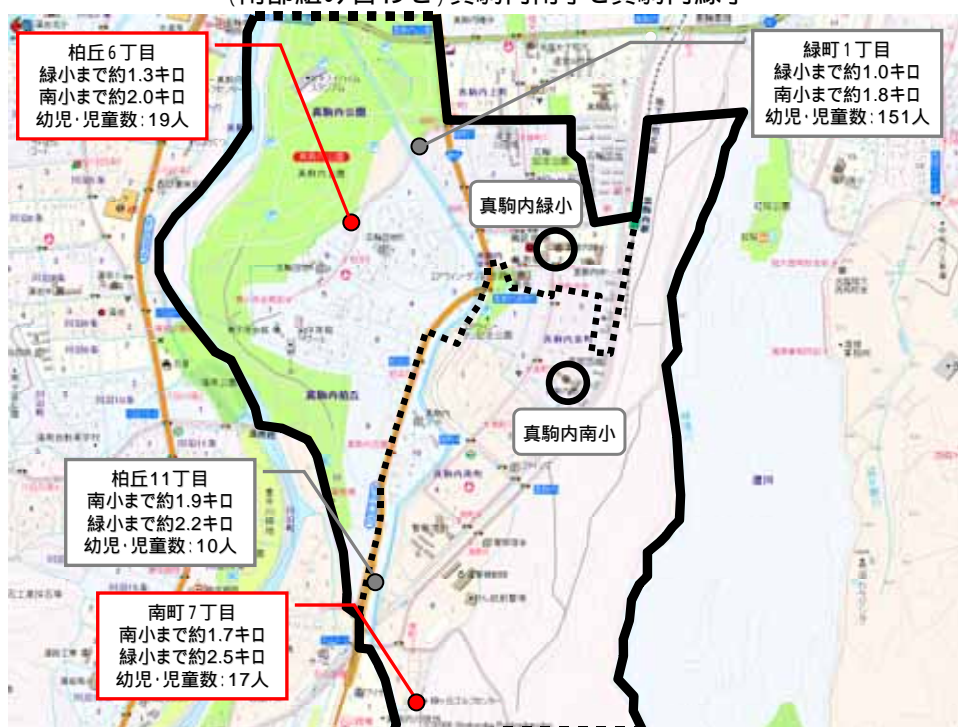


最も通学距離が遠くなる地点のほかに、通学距離が長くなる地点の何例かを参考に載せてあります（南部組み合わせも同じ）。

南部組み合わせ（真駒内南小 + 真駒内緑小）では、真駒内南小が統合校の位置となった場合、最も遠くなる地点は柏丘6丁目の約2.0 kmで、人数は19人となります。

一方、真駒内緑小が統合校となった場合、最も遠くなる地点は真駒内南町7丁目の約2.5 kmで、人数は17人となります。

（南部組み合わせ）真駒内南小と真駒内緑小



学校施設の状況

北部組み合わせ（真駒内小 + 真駒内曙小）で、統合時必要となる普通教室等の数は平成24年度で18教室、平成25年度で19教室となります。一方、南部組み合わせ（真駒内南小 + 真駒内緑小）では同22教室、同21教室となりますが、各校の現在の教室数は以下の通りです。

区分		真駒内小	真駒内曙小	真駒内南小	真駒内緑小	備考
統合時必要な 普通教室等の数	普通教室 (A)	15		19		
	特別支援学習室 (B)	3		3		知的1 + 情緒1 + プレイルーム
	(A)+(B)	18		22		
	通級指導教室 (C)	-		4		現在の真駒内南小学校の場合
	普通教室 (学級数) (D)	7	11	12	13	
現在の 室数	特別支援学習室 (E)	3	1	3	-	
	余裕教室等 (F)	8	12	7	7	比較的容易に普通教室に改修可能な室
	(D)+(E)+(F)	18	24	22	20	
	特別教室	8	10	8	8	理科室・音楽室・図書室・図工室・家庭科室・視聴覚室・コンピュータ室・教育相談室・特別活動室
	多目的室	1	3	2	4	
参考	校舎面積	4,645㎡	5,808㎡	6,287㎡	5,337㎡	
	屋内運動場面積	565㎡	995㎡	1,342㎡	1,055㎡	
	校地面積	26,159㎡	15,585㎡	21,648㎡	13,689㎡	

各委員からの意見

- ・ 緑町など、真駒内緑小学校の近隣にたくさん子どもがいること、立地がいいことを考えると、南部の統合校の位置は真駒内緑小学校が適当ではないか。
- ・ 南部の統合校の位置が真駒内南小学校になった場合、柏丘からの通学距離は2 km 以内ではあるが、冬季の悪天候時等の子どもの負担を考え、バス通学を考えている保護者はいらっしゃると思う。
- ・ 子どもたちにはのびのびと過ごしてほしいので、できるだけ施設的にも余裕があるほうがいいと思う。
- ・ 真駒内小学校の屋内運動場は、今の児童数でも狭く感じているのに、統合により児童数が増えると、思うような活動ができなくなるのではないかと懸念している。

- ・真駒内緑小学校の教室数には余裕がないようであるが、テラス部分を増築することなどで対応できるのではないか。
- ・たとえば、北部を先行して、統合するということはできないか。
- ・保護者にとっては、統合校の位置に加え、統合時期も大きな関心事なので、次回、最短で統合する場合のスケジュールを示してほしい。
- ・「自分の学校を残したい」という思いはどの学校にもあるが、これからの子どもたちにとって、一番いい教育環境は何かという視点で検討していくべきということを確認した。



第6回検討委員会について

第6回検討委員会（7月開催予定）では、引き続き、統合校の位置について検討を進めていく予定です。併せて、事務局から統合に向けたスケジュールの例を示すこととしました。

委員の交代について

今回の検討委員会より、4名の委員交代がありました（新委員五十音順、敬称略）。

（新）小 林 順 子（真駒内小学校 P T A代表）	（旧）枝 園 友 美
佐々木 知寿子（真駒内小学校 P T A代表）	山 田 晴 美
佐々木 美代子（真駒内緑小学校 P T A代表）	渡 部 正 子
中 井 浩（真駒内南小学校 校 長 ）	蒲 生 みや子

真駒内地域の皆様からのご意見をお待ちしております

ご意見は、下記の検討委員会事務局までお寄せください。

真駒内地域小規模校検討委員会事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部計画課（配置計画担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル5F

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837

E-Mail haichikeikaku@city.sapporo.jp

これまでの検討委員会ニュースにつきましても、札幌市教育委員会ホームページに掲載しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/shokibo_kentou.html